

令和5年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和6年6月17日

部	教育委員会生涯学習部	課	生涯学習文化課
---	------------	---	---------

施設名・所在地	函館市民会館 函館市湯川町1丁目32番1号		
設置条例	函館市民会館条例		
指定管理者名	函館市文化スポーツ振興財団・コナミスポーツグループ	指定期間	令和2年（2020年）4月1日から令和7年（2025年）3月31日までの5年間
指定管理者の特別な要件			選定区分 公募 非公募
設置目的	市民の文化活動および集会等の用に供するため		
設置年月	昭和45年7月	建設費	671,230千円
構造規模等	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造，一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建 建物延床面積8,051.30㎡ 大ホール1,370席，小ホール，大会議室，展示室，小会議室1号，小会議室2号，和室等		
開館時間	開館時間 午前9時～午後10時		
休館日等	休館日 年末年始（12/31～1/3），器材点検日（随時）		
料金体系	利用料金制の採用の有無 有（平成27年度～）		
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況 (1)管理業務 ア 施設の維持管理に関すること（清掃，警備，施設・設備保守点検，AEDの管理，備品管理等） イ 文化芸術を振興する事業の実施に関すること（鑑賞型事業，参加創造型事業，育成型事業，文化芸術活動に対する協力・奨励事業，ほか市の文化芸術の振興に資する事業等） ・鑑賞型事業（藤井フミヤCONCERT TOUR2023 Special LoveSong 函館公演，25th Anniversary 高島ちさ子&加羽沢美濃～ゆかいな音楽会～函館公演，ざいだんアフタヌーンステージ2023（3回），十三代目市川團十郎白猿襲名披露巡業，親子de楽しむジャズコンサート ・参加創造型事業（函館市民文化祭 展示部門，舞台部門） ・育成型事業（函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ（育成事業，定期演奏会），ざいだん「邦楽こども教室」（通年コース，冬季短期コース），冬休み特別企画「楽器のひみつ大発見！」～パイプオルガン編～） ・奨励型事業（ざいだんアートマルシェ，スタインウェイを弾いてみよう！） ・共催事業（第41回公演初春巴港賑） ウ 利用者に関すること（案内・説明，使用受付・使用制限，連絡調整，情報提供，苦情対応等） エ 利用料金に関すること（利用料金の請求，減免等） オ その他教育委員会が定める業務（生涯学習情報の提供，各種書類の整理保管，市への報告等庶務業務等）			

※ 令和元年度は耐震等改修工事により休館していたため、利用者数の実績なし。

5 指定管理者の収支状況

(単位:円)

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入	委託料	187,068,547	181,850,466	186,262,000	185,280,000
	利用料金収入	13,181,710	26,373,050	31,456,300	35,876,790
	事業収入	1,227,750	2,476,681	2,145,787	2,769,338
	その他の収入	6,311,170	2,035,830	△ 428,936	△ 1,002,770
	計	207,789,177	212,736,027	219,435,151	222,923,358
支出	人件費	41,334,804	42,235,572	44,234,016	46,383,397
	燃料費	82,322	114,963	117,981	130,073
	光熱水費	18,280,965	20,777,597	27,754,608	30,940,808
	委託費	115,429,566	117,796,768	118,980,228	120,313,755
	修繕費	993,662	1,243,110	1,572,079	1,329,054
	その他の支出	31,667,858	30,568,017	29,001,978	27,871,552
	計	207,789,177	212,736,027	221,660,890	226,968,639
当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト		4,219	2,040	1,394	1,186

※ なお指定管理者への収支補填額は次のとおり計上されている。

令和2年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館に係る営業損失補填金 1,888,567円

(令和2年度その他の収入に計上)

令和4年度分収支補填金 461,185円(令和5年度その他の収入に計上)

令和5年度分収支補填金 2,280,727円(令和6年度決算に計上予定)

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 有

ア 管理業務実績報告書を毎月提出, 事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 利用者アンケートを実施

ウ 評価シートによる自己評価を実施

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	☒ A ☐ B ☐ C ☐ D	・年に2回の財団内研修や中堅職員の外部研修会への参加の他、事業担当職員のWEB講習受講および財団職員有資格者による普通救命講習会を実施し、職員の資質向上に努めている。 ・使用内容を詳細に聞き取ることにより、希望する使用方法と相違がないか確認し、適切なアドバイスをを行っている。 ・地域で活動する音楽家や音楽団体・地域住民と連携し、協働で事業を実施している。 ・施設、設備、機器等の保守点検について、管理業務執行計画に基づき安全点検の他、良好に運営するための保守を行っている。	・的確な施設運営を行い、館の利用促進に努めていくと共に、維持修繕にも早急に対応し安心・安全な利用環境を提供したい。また、多くの市民のニーズをしっかりと分析・把握しながら計画する事業を開催し、市民の文化・芸術の振興に貢献していきたい。
サービスの 質の状況	☒ A ☐ B ☐ C ☐ D	・道内の同業者が集う研修会に参加し、情報交換を行い知識を高め、さらに年に2回の財団内研修に参加することにより、職員の業務に関する知識の水準および意識の向上を図っている。 ・施設利用者向けのアンケート箱の設置、利用者懇談会を実施した他、事業毎にアンケート調査を実施し、利用者の要望を把握すると共にその反映に努めている。 ・ホームページによる広報活動や、年4回発行の無料広報誌「ステップアップ」を発行し施設情報を周知している。また、地元新聞での広告掲出や取材依頼、ラジオCMや番組への施設情報の提供、そして新たにSNSツール「LINE」を導入し積極的に情報発信を行っている。	・コロナ禍で多くが中止されていた外部研修が再開され始めているため、今後、積極的に参加し職員の資質向上に努めていきたい。 ・環境に配慮した経営、福祉対策の取り組みなどは、モデルとなる実例を研究し、また関係団体などと連携をはかりながら検討を重ねた上で、すべての利用者に喜ばれる施設運営を行うため、より一層サービスの向上に努めていきたい。
団体の経営 状況	☒ A ☐ B ☐ C	・事業収支および経営状況ともに適正に行っている。	・今後においても、事業収支および経営状況ともに、よりいっそう適正に行うとともに、安定した事業運営に努めていく。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	・年に2回の財団内研修や救命講習、自主防災リーダー研修に加え、市外で行われた舞台芸術に関する研修や事業実施に役立つ研修等に積極的に参加するなど職員の資質向上のため幅広い研修等に参加している。 ・使用内容についての詳細な聞き取りや事前打ち合わせを実施するなど利用者の利便性向上に努めている。 ・函館出身のロックバンドGLAYのライブや仙台フィルハーモニー管弦楽団のコンサートなどを実施し、市民が高いレベルの音楽に触れる機会を提供したほか、地元音楽家によるざいだんアフタヌーンステージや、ざいだん出前コンサートを実施するなど市民が音楽に触れる多様な機会を提供した。 ・市内の作家との協働によるアートマルシェを開催するなど、市民等との連携により事業を実施している。 ・リスク分担に基づき必要な修繕を行っている。また、1日に1回施設の巡回を行い異常がないか確認を行うとともに、近隣住民のため敷地外の落ち葉の清掃にも積極的に取り組んでいる。 ・エアコンの無い貸室の窓に網戸を自作して設置するなど利用者の利便性向上に努めている。	・新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにより、前年度に比べ利用者数、利用料金収入ともに増加しており、主催事業についても計画されたものは確実に実施されていた。 ・平成29年度から令和元年度まで実施した耐震等改修工事では、屋上および外壁の修繕を行えなかったことから一部雨漏りが発生しており、利用者へ影響を及ぼさないかが懸念であり修繕について検討する必要があるが、指定管理者には、異常等発生時の市への報告を引き続き行っていただき、状況を注視していただきたい。 ・今後も来館者が安全かつ安心して利用できる環境の保持に努めていただくとともに、多種多様な事業を実施することにより、市民の文化芸術活動の場や、市民が文化芸術に触れる機会の提供を図り、親しみを感じられる施設の運営に努めていただきたい。
サービスの 質の状況	☐ A ☒ B ☐ C ☐ D	・施設の運営や、事業実施に関する各種研修に積極的に参加し、職員の資質向上に努めている。 ・ざいだんアートマルシェにおいて出品希望者が想定を上回った際に募集人数を拡大するなど柔軟な対応を行った。 ・地域の飲食店と協力し、地元の音楽家が出演するざいだんアフタヌーンステージを年3回実施するなど地域や地元音楽家と継続的な関係性を築いている。 ・地域のボランティア清掃に参加している。 ・ホームページに「コンベンションお役立ち情報」として近隣の宿泊施設や仕出し屋等の情報を掲載している。	・今後も積極的に職員の研修参加を行い、施設運営や事業実施に役立てていただくほか、各種イベント会社とのネットワークを拡大するなど、多様な公演事業を実施していただきたい。また、地域との関係性を引き続き大切にし、地元のアーティストが活躍できる様々な事業を実施していただきたい。 ・引き続き様々な媒体で市民に対する情報発信を行うとともに、利用者懇談会やアンケートによる市民ニーズの把握に努めていただきたい。
団体の経営 状況	☒ A ☐ B ☐ C	・事業収支は適正であり、経営状況はおおむね良好である。	今後も適正な事業収支、健全な経営の確保に努めていただきたい。

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。